

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ		年次	2	実務経験	担当	仁藤 都 福田 美幸	
	Career Development Ⅲ		授業形態	講義				
			時間数	30				
学科・専攻	ヘアメイク科		単位	2	有	開講区分	前期	
						曜日・時間	1組(金3限)2組(火2限)3組(火3限)4組(金2限)	
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。							
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。							
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。							
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題							
教科書				事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。			
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad							
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする							
授 業 計 画								
回数	授業テーマ			授業内容				
1	自己紹介・他己紹介			相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする				
2	就職対策			ヘアメイク業界を知り、就職活動がスムーズに行えるようになる				
3	TOPサロンゼミ			業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる				
4	卒業制作①			卒業制作に向けてテーマ・チーム決めを行う				
5	卒業制作②			グループワーク デザインシート作成				
6	グループディスカッション			スポフェスに向けて、出場種目、クラス衣装を決定				
7	中間試験			企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる				
8	卒業制作③			卒業制作の衣装小道具を作成する				
9	TOPサロンゼミ			業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる				
10	コンテスト対策			コンテストに向けて完成を磨き、オリジナリティのある先品が作れるようになる				
11	卒業制作④			卒業制作に向けて最終確認を行う				
12	卒業制作⑤			卒業制作の振り返りを行う				
13	社会人基礎力を身につける①			社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語、を正しく学ぶ。				
14	社会人基礎力を身につける②			相手に伝わる『伝え方』を身に着ける				
15	定期試験			企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる				

科目名 (英)	アシスタントプログラムⅢ Assistant program Ⅲ	年次	1	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	講義・演習			
		時間数	30			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	前期 1.2組(水3.4限)3.4組(水1.2限)
講師紹介	ヘアメイク事務所ビーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	業界理解と作品撮りにより自己表現					
到達目標	業界を理解し、作品を通して、自己表現できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	業界講話	TV業界について
2	業界講話	出版業界について
3	業界講話	音楽業界について
4	業界講話	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅡ Still Hair MakeⅡ	年次	2	実務経験	担当	吉村 幸
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 1組(月3.4限)2組(金3.4限)3組(月1.2限)4組(火1.2限)
講師紹介	舞台やスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学ぶ、またテーマ合わせたヘアメイクを自分で考えてヘアメイクに落とし込むことができるようになる。作品撮影する					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンの撮影にて作品を残す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	デザイン画のプリント配布	事前事後 学習と その内容				
教材	ヘア道具メイク道具一式					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	1950年代トレンド	50年代(オードリーヘップバーン)をアレンジしたデザイン&実技
2	1960年代トレンド	60年代(ツイッギー)をアレンジしたデザイン&実技
3	1980年代トレンド	80年代をアレンジしたデザイン&実技
4	1990年代トレンド	90年代をアレンジしたデザイン&実技
5	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをアレンジしたデザイン考案
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	テーマ 春夏秋冬【春】	日本の季節【春】を表現するヘアメイクを考え表現する
10	テーマ 春夏秋冬【夏】	日本の季節【夏】を表現するヘアメイクを考え表現する
11	テーマ 春夏秋冬【秋】	日本の季節【秋】を表現するヘアメイクを考え表現する
12	テーマ 春夏秋冬【冬】	日本の季節【冬】を表現するヘアメイクを考え表現する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
14	定期試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair MakeupⅡ	年次	2	実務経験	担当	細谷 桃香
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組(火3.4限)2組(水1.2限)3組(金3.4限)4組(水3.4限)
講師紹介	H27 東京ベルエポック美容専門学校卒業後フリーランスのアシスタントとして経験を積みアイドルの専属ヘアメイクチームに所属。チーム卒業後フリーランスのヘアメイクとして声優・アイドル・アーティスト等の音楽業界とファッション業界をメインに活動中。					
目的 科目概要	ヘアスタイル・ヘアメイクの技術・知識を身につける。					
到達目標	カールアイロンを使用しスタイリングができる。ハーフアップスタイルができる。アップスタイルができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品 ☐ 提出課題					
教科書	配布資料	事前事後 学習と その内容	授業前に道具のセッティングをしてください。 実技終了後は清掃を行います。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・アイロンテクニック	自己紹介、カールアイロンとストレートアイロンの技術の取得
2	編込みスタイリング	編込みスタイリングの技術の取得
3	ハーフツインテール・ツインテール	ハーフツインテール・ツインテールの技術の取得
4	シニヨンスタイリング	シニヨンスタイリングの技術の取得
5	ポニーテール	ポニーテールの技術の取得
6	中間試験対策	中間試験対策
7	中間試験	中間試験
8	メンズヘアセット	メンズヘアセットの技術の取得
9	和髪風スタイリング	和髪風スタイリングの技術の取得
10	パーティスタイル	パーティスタイルの技術の取得
11	ハーフアップスタイリング	ハーフアップスタイリングの技術の取得
12	網下ろしスタイリング	網下ろしスタイリングの技術の取得
13	アップスタイリング	アップスタイリングの技術の取得
14	期末試験対策	期末試験対策
15	期末試験	期末試験

科目名 (英)	卒業制作 graduation project	年次	2	実務経験	担当	CAA(高岸・原口・福田・杉山)
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	1組(水1.2限)2組(月3.4限)3組(水3.4限)4組(月1.2限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師					
目的 科目概要	プランニング、ヘアメイク技術、メイク技術、卒業制作に必要な衣装や小道具の選定方法、デザインセンスを学びます。 撮影技術、カメラの基本操作、撮影のポーズや角度、ライティングなど、撮影技術を学びます。					
到達目標	卒業制作の授業を通じて、ヘアメイクアーティストとして必要な技術や知識を身につけ、自分自身の個性や創造力を発揮し、高いクオリティの作品を創り上げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☒ 作品 ☐ 提出課題					
教科書	配布資料	事前事後 学習と その内容		実技授業の場合、授業前にヘア・メイクセッティングをしてください。 終了後は全員で消毒と清掃を行います。		
教材	メイク道具一式・ヘア道具一式、衣装、小道具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	卒業制作のテーマやアイデアの考え方、具体的なプランニング方法を学ぶ。
2	プランニング②	デザインシートや模写の実習を行う。
3	ヘアメイク技術①	ヘアアレンジなど、ヘアメイク技術を磨く。
4	ヘアメイク技術②	クリエイティブなヘアアレンジを作成する。
5	メイク技術①	メイク技術を磨く。
6	メイク技術②	クリエイティブなメイクを作成する。
7	中間試験	化粧品広告をテーマに作品提出する。
8	プランニング③	オリジナルテーマにてデザインを考察・作成する。
9	プランニング④	
10	ヘアメイク技術③	オリジナルテーマにてヘアデザインを考察・作成する。
11	ヘアメイク技術④	
12	メイク技術③	オリジナルテーマにてメイクアップを考察・作成する。
13	メイク技術④	
14	撮影リハーサル	作品制作リハーサルを行う。
15	期末試験	作品提出

科目名 (英)	ファッション総合 I Fashion I	年次	2	実務経験	担当	坂田 依智子
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	前期(3, 4組1～7週 1, 2組8～14週) 1組(木1.2限)2組(木3.4限)3組(木1.2限)4組(木3.4限)
講師紹介	ドレススタイリストとして15年間、ドレスショップや式場、ホテルの現場で婚礼衣装業務、また責任者として部下の育成にも携わってきました。その現場での経験を伝えながら、知識やスキルの指導を行います。ブライダル専門学校や美容専門学校にて、講師歴8年になります。					
目的 科目概要	目的:フォーマルウェア、ブライダルについての知識を通して、ヘアメイクアーティストとしての幅広いトータルコーディネート力を身に付ける。 概要:フォーマルウェアの基礎知識、ブライダルに関するマナー、ドレス・メンズフォーマルの着付けのスキルを学ぶ。					
到達目標	フォーマルウェアの基礎知識を習得し、ドレス・メンズフォーマルの着付けからヘアメイクまでトータルコーディネートができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	配付資料	事前事後 学習と その内容		毎回の授業では、メモをとりながら臨んでください。わからない箇所はそのままにせず、毎回その場で質問をして解決してください。		
教材	衣裳、小物類 等					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	結婚式・フォーマルウェアの知識	結婚に関する儀式、慣習、マナーを学ぶ。 衣服の概念を理解し、フォーマルウェアの格式、装いの知識を学ぶ。
2	ドレスの知識・着付け	ドレスの歴史、ドレスの種類・ディテール・サイズを学ぶ。 ドレスのフィッティングテクニックを理解し、実践する。
3	メンズフォーマルの知識・着付け	メンズフォーマルの種類・ディテール・サイズを学ぶ。 メンズフォーマルのフィッティングテクニックを理解し、実践する。
4	ドレスのトータルコーディネート提案	ドレスの小物につて学ぶ。 ドレスのトータルコーディネートのテーマを決め、コンセプトシートを作成する。
5	ドレスのトータルコーディネート実践	前回作成したコンセプトシートをもとに、ドレスのトータルコーディネートを実践する。
6	定期試験対策、ドレスの着付け	試験に向けて、学んだ知識の復習する。 実技試験で使用するドレスを決め、相モデルでドレスのフィッティング練習。
7	定期試験	実技試験:ドレスのフィッティング 筆記試験:知識問題
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ファッション総合 I Fashion I	年次	2	実務経験	担当	イサムちゃん
		授業形態	演習			
		時間数	60(30)			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4(2)	有	開講区分 曜日・時間	前期(1, 2組1～7週 3, 4組8～14週) 1組(木1.2限)2組(木3.4限)3組(木1.2限)4組(木3.4限)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドに勤め2013年からスタイリストとして活動中。 雑誌やCMTに舞台など衣装を幅広く担当。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ヘアメイクアーティストに必要なファッションのスキルとセンスを身に付けて感性を磨く。					
到達目標	作品の衣装のセンススキルアップとプレゼンテーションスキルを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	感性とプレゼンテーションスキルまたディスカッションスキルを学ぶために毎授業の時ドレスコードを設けてプレゼンテーションしてもらいます。	
教材	タブレット 各自のメイク道具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッション総合の授業について	プレゼンテーションのスキルチェック今後の授業の流れルールなど。
2	スタイリング①	作品作りで必要なスタイリングテクニックなどを学ぶ
3	スタイリング②	作品作りで必要なスタイリングテクニックなどを学ぶ
4	スタイリング③	撮影に向けてスタイリングチェック
5	スタイリング④	撮影に向けてヘアメイクチェック
6	定期試験準備と振り返り	定期試験に向けてブラッシュアップ
7	定期試験	定期試験
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク Bridal hair Makeup	年次	2	実務経験	担当	CAA高岸
		授業形態	演習			
		時間数	60(30)			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4(2)	有	開講区分 曜日・時間	前期(3, 4組1～7週 1, 2組8～14週) 1組(木3.4限)2組(木2限)3組(木3.4限)4組(木1.2限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ブライダルヘアメイクの基礎技術、スタイリング方法、トレンドなどを学びます。 ブライダルスタイルを考慮して、ドレスや小物の選定方法、ヘアメイクのデザインセンスを学びます。 ドレスや小物のカラーとヘアメイクのカラーを合わせる方法、カラーコーディネーションの基礎を学びます。					
到達目標	ブライダルヘアメイクの授業を通じて、ブライダル業界で活躍するために必要な技術や知識を身につけ、高品質な作品を創り上げることが求められます。 また、プレ花嫁へのアドバイスや相談対応など、お客様へのサービスマインドや接客スキルを身につけることも重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品 ☐ 提出課題					
教科書	配布資料	事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にヘア・メイクセッティングをしてください。 終了後は全員で消毒と清掃を行います。			
教材	メイク道具一式・ヘア道具一式、装飾品					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ブライダルヘアメイクの基礎	ブライダルヘアメイクの基礎技術、スタイリング方法、トレンドなどを学びます。
2	ドレスや小物の選定	ブライダルスタイルを考慮して、ドレスや小物の選定方法、デザインセンスを学びます。
3	カラーコーディネーション	ドレスや小物のカラーとヘアメイクのカラーを合わせる方法、カラーコーディネーションの基礎を学びます。
4	ウェディングアレンジメント	ブーケやテーブル装花、会場装飾など、ウェディングアレンジメントの基礎を学びます。
5	プレ花嫁へのアドバイス	プレ花嫁へのアドバイスの方法、相談対応の基礎を学びます。
6	ヘアメイクの実践	ブライダルヘアメイクの実践演習を通じて、技術や創造力を磨きます。
7	中間試験・期末試験	ブライダル ヘアアレンジ&メイクアップ
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	特殊メイクⅠ Special Effect Make upⅠ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 1組(金1.2限)2組(火3.4限)3組(火1.2限)4限(金3.4限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任。					
目的 科目概要	ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得する。、クリエイティブなメイク表現を理解する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	適宜参考画像・動画など資料用意します。			事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取ること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	あざメイク／傷メイク①／火傷メイク①	アザ初日 アザ初目 アザ4日目／すり傷／ワックスを使った傷メイク／ペイントによる火傷メイク(Ⅰ度熱傷)／ワセリンとオブラートによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
2	傷ワックスの応用メイク①	ワックスを使った、つけ鼻／指切れ／裂傷メイク
3	死人メイク／傷ワックスの応用メイク②	ペイントによる死人メイク／ワックスを使った銃創メイク／縫合メイク
4	特殊メイクで再現①	殴られてケガした人の顔メイク
5	老けメイク①(ペイントのみ)	くすみ シミ 小ジワ 大ジワ たるみ コケ 白髪 老化を表現する
6	ゾンビメイク	老け 痣 火傷 傷 死人メイクの応用でゾンビを表現する
7	中間試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)
8	傷メイク②／火傷メイク②	シリコンパテによる傷メイク／ゼラチンを使った水疱メイク(Ⅱ度熱傷)
9	火傷メイク③	ラテコットンによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
10	伝染性皮膚疾患メイク	3Dトランスファーピーシメイクによる伝染性皮膚疾患メイク
11	特殊メイクで再現②	汗+煤汚れ+火傷の組み合わせた爆撃を逃れた人の顔)
12	男装メイク	つけ髭も含めた男性に見せるメイク
13	老けメイク②	ラテックスを使用した老けメイク
14	ゾンビメイク②	ラテックス・シリコンパテ・汚しを組み合わせたゾンビメイク
15	定期試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク ※まつ毛エクステーション Bridal Hair Makeup	年次	2	実務経験	担当	川戸 有子
		授業形態	演習			
		時間数	60(30)			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4(2)	有	開講区分	前期(1, 2組1～7週 3, 4組8～14週)
					曜日・時間	1組(木3,4限) 2組(木1,2限) 3組(木3,4限) 4組(木3,4限)
講師紹介	H29 東京ベルエポック美容師科通信課程を修了し、現在はまつ毛エクステ、エステ技術者・経営をしております。卒業した母校で講師として携われる事がとてもやりがいを感じます。					
目的 科目概要	近年、まつ毛エクステーションは多くの女性に人気を集めるようになりました。まつ毛エクステーションは、地まつ毛に装着するので危険が伴います。そのため、アイリストとして確かな知識や技術が必要です。私も日々細心の注意を心がけております。安心・安全を第一とする技術者としての自覚や心構えを学んでもらいたいです。					
到達目標	まつ毛エクステーション施術について、安全・衛生面の重要性とともに基本知識・技術を習得する。カウンセリング・デザインからエクステーション装着をマネキンを利用して施術を行う。安全に丁寧に美しく仕上げることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 ■作品 ■提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	忘れ物ないよう毎回確認しましょう	
教材	プリント(補助教材)初回時に配ります。					
特記事項	授業で毎回必ず必要な物 筆記用具・タオル2枚・ツイーザー2本・付けまつ毛・小さいビニール袋・ポケットティッシュ					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	まつ毛エクステーションとは	左右のツイーザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイーザーの間に1本入れる。
2	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する
3	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する
4	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)
5	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)
6	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)
7	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ブライダル総合 General Bridal	年次	2	実務経験	担当	天野 充恵
		授業形態	講義・演習			
		時間数	30			
学科・コース	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	前期 集中授業
講師紹介	花業界に入って30年。ブライダル、イベント装飾、植物による空間デザインなど。生花、プリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワーなどを取り扱い フラワーデザイナーとして活動					
目的 科目概要	花の知識、ブライダルの中での花の役割を知る。					
到達目標	花の種類、特徴を理解。 ブライダルの中でどのような装飾や演出があるかを理解。ドレスや会場に合わせたコーディネートイメージできるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	メモをとり、理解する	
教材	プリント					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	花のいろいろな素材について	生花、プリザーブドフラワー、ドライフラワー、アーティフィシャルフラワーなど素材の違いと適切な用途、扱い方を理解する
2	季節のお花・花言葉について	季節感がでるお花、その時期にしかないお花、花言葉を知る
3	ブライダルで使われるお花について	ブライダルにふさわしいお花、ブーケに使われるお花を知る
4	ブライダル装花について	会場装飾としてどのようなものが飾られるのかを理解する
5	ブライダルでのお花を使った演出について	ブライダルの中で行われるいろいろな演習、由来について理解する
6	ブートニア制作(ワーク)	ワイヤリング法とリボンの作り方を理解し、ブートニアを制作
7	テイストイメージについて	テイストイメージにあった色合わせについて理解する
8	テイストイメージについて(ワーク)	テーマに合わせたコーディネートを実際コラージュし作ってみる
9	テイストイメージ(発表)	それぞれ前回は制作したものを発表
10	ウェディングブーケの種類、ドレスとの相性	ウェディングブーケの種類とドレスとの相性を理解する
11	ラウンドブーケ・ブートニア・ヘアード(ワーク)	ラウンドブーケ、ブートニア、ヘアードの制作
12	ラウンドブーケ・ブートニア・ヘアード(ワーク)	ラウンドブーケ、ブートニア、ヘアードの制作、完成させる
13	生花の水揚げ法とブートニア作り	生花の水揚げ法を知り、ブートニアを制作
14	ブライダルコーディネート	各自、自由に会場やブーケなどをコラージュでコーディネートをする
15	振り返りとまとめ、発表	前回制作したコーディネートの発表と振り返り

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career DevelopmentⅣ	年次	2	実務経験	担当	仁藤 都 福田 美幸
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組(水2限)2組(木3限)3組(木2限)
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 冠婚葬祭①
2	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 冠婚葬祭②
3	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なお金の知識を身につける。 税金、保険、年金
4	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
5	グループディスカッション	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。
6	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置や、どうすれば印象に残せるか学ぶ。
7	中間試験	前期を振り返り後期に向けての目標を明確にする。 社会人マナーの筆記テスト
8	社会人基礎力を身につける	伝える力、読み取る力を学ぶ。
9	グループディスカッション	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。(上座・下座)
11	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。(電話対応)
12	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
13	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
14	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
15	定期試験	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】後悔のない人生を送る為にはどうすればいいか 800文字にまとめる。

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅢ Still Hair MakeupⅢ	年次	2	実務経験	担当	赤木 英二
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 1組(火3.4限)2組(火1.2限)3組(木3.4限)4組(1.2限)
講師紹介	舞台やスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	テーマに合わせたコンセプト、ヘアメイクを自分で考えてコンセプトシートにまとめ、オリジナルティーを追及する。					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンにより作品残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品 □ 提出課題					
教科書	ヘアメイク道具一式	事前事後 学習と その内容				
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	テーマに合わせたヘアアレンジ①	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
2	テーマに合わせたヘアアレンジ②	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
3	SDG's(エスディージーズ)を考える①	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(1～9までのカテゴリーで決める)
4	SDG's(エスディージーズ)を考える②	前回作ったコンセプトシートをもとにヘアメイクを完成させる
5	SDG's(エスディージーズ)を考える③	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(10～17までのカテゴリーで決める)
6	SDG's(エスディージーズ)を考える④	前回作ったコンセプトシートをもとにヘアメイクを完成させる
7	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
8	中間試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
9	中間試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
10	JAPANENE(グループ制作①)	日本文化の特徴と表現方法をグループで制作する(ヘア担当・メイク担当・モデル担当)
11	JAPANENE(グループ制作①)	日本文化の特徴と表現方法をグループで制作する(ヘア担当・メイク担当・モデル担当)
12	JAPANENE 個人制作	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業 ヘアメイクのテスト・準備
14	定期試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair MakeupⅢ	年次	2	実務経験	担当	井上 満智
		授業形態	演習			
				時間数	60	有
学科・専攻	ヘアメイク科2年	単位	4	曜日・時間	1組(木1.2)2組(月1.2)3組(金1.2)4組(火1.2)	
講師紹介	専門学校卒業後、ヘアメイク事務所ににて6年間勤務。TV、スチール、ブライダル等のヘアメイクからサロンワークまで、幅広く担当したのち独立。現在 はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中。					
目的 科目概要	実践的なヘアアレンジテクニックの習得、ヘアとメイクをトータルで考えて表現できる技術の習得。 より現場に近い時間を意識したヘアメイクの実践。					
到達目標	場面に応じたヘアアレンジのバリエーションの習得 自分がイメージしたスタイルを表現できる技術の習得。 お客様がなりたいイメージを叶える表現力をつける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	トレンドのスタイルや、様々なヘアメイクのイメージがぱっと思いつくように、日ごろから意識して雑誌やSNSを見るようにする	
教材	ヘア道具一式、メイク道具一式、鏡、エプロン					
特記事項	授業前に道具をセッティング					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トレンドヘアアレンジ①	結婚式、成人式、卒業式などでトレンドのハーフアップスタイルを相モデルで実践する。
2	トレンドヘアアレンジ②	結婚式、成人式、卒業式などでトレンドの編みおろしスタイルを相モデルで実践する。
3	トレンドヘアアレンジ③	結婚式、成人式、卒業式などでトレンドのアップスタイルを相モデルで実践する。
4	アイドルヘアアレンジ①	ハーフツインテール、ツインテールヘアをかわいらしく作る。
5	アイドルヘアアレンジ②	アイドルに人気のヘアアレンジを習得する(ひつじさんヘア、くまさんヘア)
6	中間試験対策	相モデルでの練習。
7	中間試験	相モデルでの実践。
8	宣材写真用ヘアメイク①	宣材写真用のヘア・メイクを学び、相モデルで実践する、写真撮影。
9	宣材写真用ヘアメイク②	宣材写真用のヘア・メイクを学び、相モデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
10	アイドルヘアメイク①	アイドルのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影。
11	アイドルヘアメイク②	アイドルのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
12	トレンドヘアメイク①	トレンドのメイク・ヘアを学び、アイモデルで実践する、写真撮影。
13	トレンドヘアメイク②	トレンドのメイク・ヘアを学び、アイモデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
14	定期試験準備	デザインシートの作成、相モデルでの練習。
15	定期試験	相モデルでの実践、デザインシートの提出。

科目名 (英)	デザインヘアメイク Design Hair Makeup	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組(月3.4限)2組(水1.2限)3組(月1.2限)4組(水3.4限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	デザインヘアメイクの授業では、クリエイティブな発想力や技術力を身につけ、自身のオリジナルなアートワークを創り出すことが目的となります。					
到達目標	クリエイティブな発想力の向上が求められます。また、ファッションやトレンドに敏感な視点を持ち、広告、舞台やコスプレなど、多様な技術やスタイルに触れ、自分の個性を発揮することが重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	世界コスプレ技術検定協会公式テキスト	事前事後 学習と その内容	実技授業の場合は、授業前にヘア・メイクセッティングをしてください。 終了後は全員で消毒と清掃を行います。			
教材	ヘア・メイク道具一式 衣装 小物 ウィッグなど					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デザインヘアメイク基礎①	火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
2	デザインヘアメイク基礎②	デザインと構成をブラッシュアップする。
3	クリエイティブメイク①	従来の定番のヘアスタイルやメイクアップから脱却し、新しいアイデアや技術を駆使して、オリジナルで斬新なヘアスタイルやメイクアップを創り出すことを指します。
4	クリエイティブメイク②	クリームカラーやグリッター、つけまつ毛などの様々な使用方法を試します。
5	クリエイティブヘア&メイク③	メイクとヘアスタイルのデザインを作成します。
6	中間対策	クリエイティブな作品リハーサル。
7	中間試験	クリエイティブな作品提出。
8	広告①	クリエイティブなヘアメイクアップアーティストは、ファッションショー、雑誌の表紙、映画、CMなどのプロジェクトで重要な役割を果たしています。CM広告を作成。
9	広告②	コレクションをイメージした広告を作成。
10	コスプレ①	コスプレメイクとは、コスプレという衣装やメイクアップによるキャラクター再現に特化したメイクアップのことを指します。コスプレとは、アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、そのキャラクターの衣装やメイクアップを自分で着用することを指します。 ①キャラ選択
11	コスプレ②	②キャラクターの特徴・ウィッグ・衣装の選定 メイクリハ。
12	コスプレ③	③コスプレメイク実習。
13	オリジナリティ	新しいアイデアや技術を駆使して、オリジナルで斬新なメイクアップを創り出す。
14	期末試験対策	広告作品提出リハーサル。
15	期末試験対策	広告作品提出。

科目名 (英)	特殊メイクⅡ Special EffectⅡ	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組(水3,4限)2組(金3,4限)3組(水1,2限)4組(金1,2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	手順が特殊なので前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なのでしっかりとメモを取り、何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出していただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイクメイク①	【バズルメイク】顔にバランス良くジグソーパズルのピースを描くことができる。
2	フェイクメイク②	【ハーフ&ハーフメイク】顔に男女の横顔を描き分けることができる。
3	フェイクメイク③	【アメコミメイク】アメコミ風の顔に見えるメイクをすることができる。
4	フェイクメイク④	【フェイスオフメイク】顔がはずれて見えるメイクをすることができる。
5	フェイクメイク⑤	【スライスカットメイク】顔が切れてずれて見えるメイクをすることができる。
6	フェイクメイク⑥	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクをすることができる。
7	中間試験	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクを時間内に仕上げる。(20点)
8	舞台メイク①	【キャッツメイク】デザイン・ライン・グラデーション・左右対称にこだわって作ることができる。
9	舞台メイク②	【宝塚男役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
10	舞台メイク③	【宝塚娘役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
11	舞台メイク④	【宝塚ハーフ&ハーフメイク】半顔男役/半顔姫役をしっかりと作り分けることができる。
12	フェイクメイク⑦	【アニメメイク】眉・目・唇をアニメのキャラのように限りなく大きく仕上げることができる。
13	フェイクメイク⑧	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現を学ぶ。
14	フェイクメイク⑨	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現することができる。
15	定期試験	【スカルメイク】を限られた時間内で仕上げる(50点)

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	仁藤 都
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(月1・2限)2組(月3・4限)3組(火3・4限)4組(月1,2限)
講師紹介	代官山AWディレクター。ロンドン留学での美容経験やアーティスト、有名デザイナーのヘアメイク、ブライダルヘアなど様々な経験を元にサロンワークの可能性や楽しさを伝えたい					
目的 科目概要	目的:シャンプーブロー、スタイリング、アップスタイルの基本的技術の習得。 概要:基礎技術に加え、髪に触れることに慣れ、カットデザインとヘアメイクの連動性からデザインの繋がり、面白さを学び、生徒自身の可能性を広げたい					
到達目標	様々な視点から物事が見られる。ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションが取れる。生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する
2	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
3	シャンプーブロー実習	相モデルでのシャンプーブロー実習
4	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
5	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
6	シャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実習
7	中間テスト	相モデルでのシャンプー、ブロー、アイロン、スタイリング実技試験
8	カウンセリング	相モデルでのカウンセリング実習、会話からスタイルを導き出す
9	相モデルによる水巻きパーマ	薬剤を使わずに水のみでかけるパーマ、パーパス以外の巻き方やコテ巻きとの違いを学ぶ
10	相モデルによる水巻きパーマ	薬剤を使わずに水のみでかけるパーマ、パーパス以外の巻き方やコテ巻きとの違いを学ぶ
11	相モデルによるスタイリング実習	基本的なアップスタイルから、編み込み、崩し、柔らかさの表現方法など
12	基礎的カットスタイリング実習	ウィッグを使い、実際に髪を切りカットによるデザインの変化を学ぶ
13	イメージ別カットスタイリング実習	生徒それぞれが自由にイメージを考えカットしスタイルを作る。授業の最後に簡単なプレゼンを行う
14	相モデル作品制作	ペアになりこれまでに学んだ技術を使って作品制作、写真撮影
15	期末テスト	相モデルでの作品制作、写真撮影、プレゼンテーションを行う

科目名 (英)	パーソナルカラー Personal color	年次	1	実務経験	担当	高橋 名都紀
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組(木3限)2組(木1限)3組(木2限)4組(木4限)
講師紹介	色彩心理に興味を持ったことをきっかけに、色彩に関する資格を多数取得(色彩検定1級、パーソナルカラー検定1級等)。色彩に関わるお仕事がしたい!と思い、個人サロンを立ち上げ、パーソナルカラー診断・骨格診断・顔タイプ診断をしています。色彩に関する知識だけでなく、みなさんの色感やスキルアップ、ファッション&メイクセンスアップにつながるような実践的なお話やアドバイスをいたします!					
目的 科目概要	目的: 似合う色を活用するポイントを学ぶことで、TPOに合わせた自分の魅せ方(自分ブランディングの仕方)を学ぶ。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。 自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げること。 パーソナルカラー検定3級(2023年度冬季)の合格を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級公式テキスト			事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、必要である場合はホームワークとして課題、復習、問題集、プリントの課題を実施いたします。	
教材	問題集、新配色カード199b、PCCストーン別色相環					
特記事項	【カラーワーク】がある日は、必ず「はさみ、のり」を持参してください。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション パーソナルカラーとP.I.Iについて	授業のオリエンテーション パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットと概要を理解する。【カラーワーク】
2	色の三属性(色相、明度、彩度)	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)を学ぶ。
3	トーン(色の調子)	トーンの見え方と仕組みを理解する。 身の周りの色や指定された色をトーンでとらえられるように、慣れる。【カラーワーク】
4	パーソナルカラーの色分け 4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの色分け 4シーズンの色の特徴を見分け、色分類ができるように、色感を磨く。
5	色素の見分け方 色素チェック	生まれながらに持った色素(肌、髪、眼の色と質感)の特徴の見分け方のポイントと、色素と似合う色の関係性を学ぶ。自分はどんな色素を持っていいるのかを確認する。
6	中間試験 ドレーピングの仕方	20問/20点満点 選択・記述問題 ドレーピングによる似合う色の見つけ方をおさえ、実習に備える。
7	ドレーピング実習①	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
8	ドレーピング実習②	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
9	似合う色の取り入れ方	4シーズンの似合う色の取り入れ方(ファッション、メイク、アクセサリ、柄、素材) 似合わない色の見え方も確認する。
10	対比 色名	色による顔色の見え方の変化を理解する。 系統色名と慣用色名の色の名前の使い分けのポイントを学ぶ。
11	反射・吸収 色と光	色はなぜ見えるのか?色と光の関係性を学ぶ。
12	模擬試験	検定に備えて過去問題を解き、苦手なところを確認する。
13	模擬試験解説 検定合格のポイント	間違えやすい問題、検定に出やすいポイント、覚えるところを確認する。
14	パーソナルカラー検定	60分 89問 マークシート 合格ライン80%
15	授業のまとめ	授業を振り返り、「自分らしさ」について考える。

科目名 (英)	フェイシャルエステティック Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1組(火1.2限)2組(木3.4限)3組(火3.4限)4組(月1.2限)
講師紹介	エステティシャンとして20年間以上に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	スキんケアの重要性と皮膚のしくみ、身体のしくみについて学ぶ。 エステティックにおけるフェイシャルクレンジング、フェイシャルマッサージ、リフレクソロジー等、エステティック市場で人気の高い技術を習得する。					
到達目標	皮膚や心身のしくみについて理解し、フェイシャルケア、ボディケアが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	AJESTHE：認定フェイシャルエステティシャン理論と技術			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは／セッティング & 肩のマッサージ	エステティックの基礎知識を学ぶ。 セッティング、消毒、清掃法。肩マッサージの実践。
2	ホメオスタシスとストレス／クレンジング	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。 フェイシャルクレンジングの実践。
3	身体のしくみと働き①／ハンドマッサージ	筋肉やリンパ系について学ぶ。 ハンドマッサージの実践。
4	身体のしくみと働き②／スチーマー	自律神経や身体のしくみを理解し、より効果的なケアについて学ぶ。 フェイシャルスチーマーの実践。
5	皮膚の仕組みと働き①／ハンドスクラブ	皮膚のしくみと働きの基礎知識を学ぶ。 ハンドスクラブの実践。
6	皮膚の仕組みと働き②／吸引機器	様々な皮膚状態とお手入れのポイントについて学ぶ。 吸引機器の実践。
7	中間試験【筆記】／技術チェック	6回までの講義の理解度を確認する。 ハンドマッサージの技術力を確認する。
8	エステティック機器とは／G5	エステティック機器について学ぶ。 G5の実践。
9	ホットストーンとは／ホットストーンセラピー	ホットストーンについて学ぶ。 ホットストーンセラピーの実践。
10	むくみとは／フットマッサージ	むくみの予防と対策に役立つ知識を学ぶ。 フットマッサージの実践。
11	リフレクソロジーとは／リフレクソロジー	リフレクソロジーについて学ぶ。 フットリフレクソロジーの実践。
12	フェイシャルマッサージとは／リンパフェイシャルケア	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
13	カウンセリングとは／リンパフェイシャルケア	カウンセリングの基礎知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの復習。
14	リフレクソロジー／リンパフェイシャルケア	フットリフレクソロジー & リンパフェイシャルケアの復習。
15	定期試験【実技】	14回までの講義の理解度を確認する。【リンパフェイシャルケア】